

2007年9月04日

第1回オルガノ（水質及び水環境）奨学金の受賞者を決定

中国における水環境保全技術に貢献した研究者を支援する事業「第1回オルガノ（水質及び水環境）奨学金、通称：オルガノ賞」の最終選考会および表彰式が、2007年8月31日、北京の中国科学院生態環境センターにて行われました。一次選考を通過した12名の中国在住の大学院生の中から本年度の一等賞（奨学金10,000元）として万禕氏（北京大学）、張高生氏（中国科学院生態環境研究センター）の2名を選出しました。また、二等賞（奨学金5,000元）として10名を選出しました。

【一等賞（奨学金10,000元）受賞者2名】（敬称略）

受賞者1	万禕 (Wan Yi、北京大学、専攻：生態毒理、博士課程)
タイトル	Trophodynamic behaviors of toxic chemicals in aquatic food web
概要	毒性化学物質の水系食物網における栄養学的な挙動に関する研究。
受賞者2	張高生 (Zhang Gaosheng、中国科学院生態環境研究センター、専攻：環境工程、博士課程)
タイトル	Development of novel composite adsorbents for water treatment: Effectiveness and mechanisms
概要	中国で大きな問題である飲料水源の砒素汚染対策に関する研究。

【二等賞（奨学金5,000元）受賞者10名】（敬称略、順不同）

何士龍（中国科学院生態環境研究センター）、姜蘇（同済大学）、柯潤輝（中国科学院生態環境研究センター）、劉曉猛（中国科学技術大学）、喬敏（中国科学院生態環境研究センター）、王曉蓮（北京工業大学）、尤世界（哈爾濱工業大学）、張繼彪（南京大学）、張崇森（西安建築科技大学）、周丰（北京大学）

○オルガノ（水質及び水環境）奨学金とは？

近年、中国では水質及び大気汚染等の環境問題が一段と深刻化しており、国を挙げて対応している。本事業は中国において水環境保全技術に携わる研究者の支援を目的に、業績を評価し優秀者を表彰する活動である。本年度を第1回目として、今後も毎年継続して実施する。主催は、中国科学院生態環境研究センターで、オルガノおよびオルガノ（蘇州）水処理有限公司は賛助の形を取り支援を行う。

参加資格は、中国在住の博士課程もしくは修士課程の大学院生。募集テーマは、水処理保全技術に関するものとした。奨学金は1等賞：2名各10,000元、2等賞：10名各5,000元、3等賞：18名各2,000元。また、一等受賞者の、自薦する本人の研究論文が「Journal of Environmental Sciences」誌に掲載される。

選考方法としては、書類による一次選考により優秀な成果を挙げている30名を選出。その中から特に優秀な12名を選び、最終選考へ進む。最終選考はプレゼンテーションによる選考で、選考委員の投票により受賞者を決定した。選考委員は関連分野の著名な専門家により構成された。選考委員長は中国科学院生態環境研究センター曲久輝所長・教授を始め、哈爾濱工業大学 任南琪教授、清華大学 胡洪宮教授、中国科学院生態環境研究センター 楊敏教授、西安建築科技大学 王曉昌教授、上海交通大学 張振家教授、同済大学 周琪教授、華南理工大學 韋朝海教授、およびオルガノ開発センター企画管理部兼第二開発部 明賀春樹部長が務めた。

○中国科学院生態環境研究センターの概要

1975年に設立され、前身は中国科学院環境化学研究所である。研究員は300名ほどで、所在地は北京にある。中国政府は1996年5月、同センターと国家環境保護総局を環境分野における主管機関に据えた。主な研究分野は環境化学、環境工学、システム生態学などであり、地域的なものから全国的、グローバルな重要生態と環境問題を研究・解決している。また同センターは、「環境科学学報」「Journal of Environmental Sciences」など6種類の国家自然科学重要刊行物と数種の海外出版物の中国語版の編集・出版なども手掛けている。

開会式の様子、オルガノ橋本喜代志社長（左端）と曲久輝所長（右端）



一等賞受賞者2名の表彰式の様子



以上